

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ38									
授業科目名 <英訳>		東アジア文献論 B Philology of East Asia B				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 准教授 宮宅 潔			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	月2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名		東アジア文化論									
【授業の概要・目的】											
新出史料に依拠しつつ、中国秦漢時代の一般庶民や下級官吏が如何なる生涯をおくったのかを、制度的な側面から紹介していく。特に戸籍制度・土地制度・賦税制度などに注目して、国家が如何にして臣民を管理したのかを概説し、それを通じて中国古代の専制国家の姿について、理解を深めることを目指す。											
【到達目標】											
中国古代史の諸制度について、基本的な知識を身につけたうえで、そこからうかがえる古代社会の有様について理解を深め、古代史研究の基礎を確立する。											
【授業計画と内容】											
1. ガイダンス 2. 戸籍制度 3. 家族制度 4. 聚落制度・土地制度 5. 身分制度 6. 教育制度 7. 賦税制度 8. 徴兵制度											
初回のガイダンスの後、各単元を1～2回に分けて講義する。											
【履修要件】											
中国古代史について、基本的な知識を身につけていることが望ましい。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末レポート（80点）に平常点（授業内での質問・発言 20点）を加味して評価する。レポート採点に当たっては、授業テーマに関連する先行研究を十分に読み込んで書かれたもの、さらにはそこに中国古代社会に関する独自の見解が織り込まれたものを高く評価する。											
【教科書】											
使用しない プリントを配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
----- 東アジア文献論 B(2)へ続く -----											

東アジア文献論 B (2)

**[授業外学習（予習・復習）等]**

予習は特に必要としない。授業内容の復習とともに、関連する図書・論文を読むことが勧められる。

**（その他（オフィスアワー等））**

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。